

石巻市立湊中学校でそんぽデジタル・マイ・タイムライン を活用した防災授業が行われました！

日本損害保険協会東北支部(委員長：菊田 政寛・損害保険ジャパン株式会社 執行役員東北エリア本部長)では、6月26日(金)に石巻市立湊中学校で行われた、当協会の防災Webコンテンツ「そんぽデジタル・マイ・タイムライン」(※1)を活用した防災授業において、当支部職員によるサポートを行いました。

石巻市立湊中学校は、海沿いに位置する学校で、東日本大震災の時には1階天井まで津波が押し寄せました。2020年からはセーフティプロモーションスクール(※2)の認証を受け、学校として防災の取組みに力を入れており、月1回、「防災タイム」という時間を設け生徒が防災について学ぶ機会を設けたり、地域向けに防災だよりを発行し、学校安全活動をお知らせする取組みを行ったりしています。

授業は、同校防災主任の横江 絹子先生が担当し、水害のVR映像を視聴したあとに、全校生徒約60名が、各自タブレットを用い、「そんぽデジタル・マイ・タイムライン」で自宅や学校の住所を入力し、浸水深や浸水継続時間、土砂災害警戒区域の有無などを確認するとともに、正しい備えの行動をクイズで学んだりしました。

自分の住む地域にどのような災害リスクがあるのか、家庭状況によってどういうリスクが想定されるのか、作成の取組みを通じて、生徒の皆さんは気づきを得られたことと思います。横江先生からは、「自身の行動範囲やライフステージが変わったときに、また本コンテンツで、マイ・タイムラインを作成して行ってほしい。」とコメントがありました。

当支部では、今後も関係各所と連携し、防災・減災の取組みを推進してまいります。

※1 そんぽデジタル・マイ・タイムライン https://sonpo-bosai.jp/sonpo_digital_my_timeline/

洪水のような進行型災害が発生した際に、いつ、何をするのか、を時系列で整理した個人の防災計画「マイ・タイムライン」をパソコンやタブレットで作成できるWebコンテンツです。国土交通省、一般財団法人河川情報センターの監修・協力を得て当協会が制作しています。

※2 セーフティプロモーションスクール

大阪教育大学附属池田小学校での殺傷事件を受け、教職員、児童・生徒、PTA、地域が参加する学校安全推進のための共感と協働に基づく安全教育・安全管理・安全連携の体系的な取組みとして、大阪教育大学が独自に創立した制度。2026年4月現在、全国で79校が認証を受けており、そのうち19校が石巻市の学校(小・中・高校)です。



先生や友人と確認しながら作成



クイズに取り組む様子